

令和6年度 学校経営要綱

令和6年4月1日
古賀市立青柳小学校
校長 立石 新次

1 学校経営の基盤

(1) 公教育としての基盤に立つ学校

- 日本国憲法及び教育基本法、学校教育法、こども基本法、児童憲章をはじめとする関係法規並びに教育課程の基準である学習指導要領に則った教育を行う。
- 福岡の教育ビジョン、古賀市管理規則等の教育施策に則った教育を行う。
- 子どもたちが、安心して楽しく学んだり生活したりできる学校づくりに努める。

(2) 現代社会の要請に応える学校

- 社会の変化に主体的に対応でき、自ら考え実践する力をもった心豊かな人間の育成を図るとともに、国際社会に生きる社会力を持った児童を育てる教育を行う。
- 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、個性の伸長や自己実現を図り、自尊感情を高める教育を行う。

(3) 児童・保護者・地域の願いに応える学校

- 保護者・地域との連携・協働を大切に、古賀市のコミュニティ・スクール(学校運営協議会)による地域とともにある教育を行う。
- 保護者が安心して子どもを学校におくり出せる信頼ある学校づくりに努める。
- 地域の豊かな自然や文化の活用と恵まれた人材の登用により地域に開かれた教育を行う。

(4) 人権・同和教育の充実

- 国・県・市の人権・同和教育施策の指針に基づき、いじめや差別のない教育を行う。
- 古賀東中学校区小・中学校が一貫した教育活動(響育)を行う。

2 本校の教育目標

(1) 学校の教育目標

豊かな心をもって、学び合い、夢や目標に向かって挑戦する子どもの育成

教育目標に対する校長の見解

本校の児童には、相手を思いやる優しさを基盤として、学習や生活の基礎基本を身に付け、仲間と共に学び合い、自己指導力を高め自己実現に向けて取り組んでほしいと願っている。そのためには、校内はもとより地域と共に「豊かな心」の育成に重点を置いて育んでいきたいと考える。

「豊かな心」とは、何ごとにも自ら主体的に取り組み(主体性)、相手を尊重して相手の立場に立とうとする思いやりの心情(協調性)をもち、友達や学級・学校、地域社会との関係(社会性)や生活をよりよくしようとする心である。この「豊かな心」を土台として、学習の場においては、互いの考えや意見を交流し、さらに高まっていこうとする「学び」の態度を育み、学力の基礎基本とともに自ら学び続けようとする「構え」が身に付くようにしたい。また、夢をもち目標を定めて、自己実現に向けて粘り強く積極的に挑戦を続けていく児童の育成に向けて取り組みたい。つまり、これからの未来社会を生き抜いていく力として、学習指導要領にも示されている「学びに向かう力・人間性」を育むことが重要であり、その資質・能力の育成が学校教育目標の実現の要となると考える。そして、児童、保護者、地域及び学校組織(教職員)のウェルビーイング(幸せ)を目指していくことが大切であると考える。

「あおやぎ小」

あ(挨拶・安心・安全)・お(思いやり)・や(やる気)・ぎ(疑問・発見)
社会性 協調性 主体性 学び

(2) めざす児童像

- 他を認め、思いやる優しさを持ち、自他共に大切にできる子ども【徳】
 - ・ 相手の気持ちを考え、相手の立場に立とうとする優しさをもった子
 - ・ 自分を大切にできる子
- 確かな学力を身に付け、仲間と共に学び高め合うことができる子ども【知】
 - ・ 基礎基本的な学力をしっかりと身に付けた子
 - ・ 「聴く」「伝える」「つながる」を大切に、お互いの考えを交流できる子
- 目標に向かって、ねばり強く取り組むことができる子ども【体】
 - ・ 自分の夢や目標に向かって、主体的に取り組むことができる子
 - ・ 新しいことや苦手なことにもあきらめず挑戦できる子

(3) めざす学校像（「花・あいさつ・笑顔・歌声・ふるさと」を大切にする学校）

- 子どもにとって希望や喜びのある楽しく安心できる学校
 - ・ 気持ちのよい「あいさつ」や学習がわかる・できる楽しさで笑顔が溢れる学校
 - ・ 友達や教師、保護者や地域の方とふれ合い学び合うことが楽しい学校
- 環境が整った、安全な学校
 - ・ 掲示物などが、計画的に整備され、花が咲き、歌声が響くきれいな学校
 - ・ 危機管理マニュアルをもとに、安全管理ができてい学校
- 子どもと教師、保護者や地域の方が互いに学び合い成長できる学校
 - ・ 子どもと教師、保護者や地域の方とが相互に信頼関係を築き、地域社会に開かれた学校

(4) めざす教師像

- 子どもへの情熱を持ち、子どもに感動を与えられる教師
 - ・ 子どもに対しての熱い思いと優しさ、生き甲斐や働き甲斐を持ち、自らの職責を果たす技術と指導力を発揮できる教師
 - ・ 子どもの「わかりたい」「できるようになりたい」という知的な好奇心や学ぶ意欲を高め、子どもの資質・能力や学び方を高める教師
- 専門職としての自覚を持ち、経営力・指導力を高めていこうとする教師
 - ・ 進んで研修に励み、授業力、生徒指導力などを自ら高めようと取り組む教師
 - ・ 公務員として法令を遵守し、規範意識をもって行動する教師
- チーム（組織）の一員として、互いに尊重し、協力し合う教師
 - ・ 互いの立場を尊重し、めざす子どもの姿に向けて具体的建設的に努力する教師
 - ・ 学校行事などでの子どもの成長や喜びに向け、チームとして協力できる教師

3 本校の教育課題と経営課題

本校児童は、家庭・地域に見守られ、素直で明るい児童が多い。また、保護者や地域の方は学校行事等へとても協力的である。一方で基本的な生活習慣の定着や家庭学習への支援等に対して十分ではない家庭もあり、生活、学習ともに基礎基本の定着が課題となっている。

職員については、学年・近接学年・分掌等の組織を生かしながら、若年教員の育成、中堅・ミドルリーダーの育成を図る必要がある。また、社会や環境の変化に対応する幅

広い視野、豊かな識見をもつ授業力、生徒指導力、学級経営力の向上や経験値を高めることが求められる。その上で学校・家庭・地域が役割と責任を明確にし、さらに連携・協働して教育活動を展開する必要がある。

(1) 教育課題

- 学ぶ意欲の向上、学力の基礎基本の確実な定着
- 基本的な生活習慣（学校生活を含む）の定着
- 思いやりと心の教育（言語環境・規範意識を含む）の推進

(2) 経営課題

- 働き甲斐や職責の自覚と授業力・生徒指導力・学級経営力の組織的向上
- チーム（組織）としての経営参画意識の向上
- 家庭・地域との連携・協働の充実

4 本年度の重点目標と経営の重点

主体的な学びと共感的人間関係づくりの推進
【スローガン】「 学び合い、支え合い、高め合う 楽しい学校 」
～主体性・協調性・社会性～

子ども・職員・保護者・地域それぞれが自ら主体的に行動し、相手を尊重しながら、ルールやマナーを大切にしよりよい関係を創造していくことは、一人一人が自分らしさを発揮して生きると共に、学校や社会において様々な人との関係の中で生きていく上で重要であると考えます。互いに「共感」し合い、共に学び合い高め合うことで、個や集団における力が相乗効果を生み、学校文化を醸成する。そして、子どもも教職員も楽しく学び、成長できる学校にしていくことが大切であると考えます。

- (1) 主体性を育むとともに、自ら学ぶ意欲の向上を図る。日々の授業や学校行事などにおいて主体的に取り組む子どもを育成するには、担任教師との信頼関係づくりが大きい。特に学習においては「わかりたい」「できるようになりたい」という思いや願いを大切にし、日々の授業を展開したり振り返り活動を行ったりして、成就感や達成感を味わうことができるようにする。このような学ぶ喜びは学び方や学力の基礎基本の定着につながる。また「何故学ぶのか」という問いを大切にし、それに応える教師でありたい。
- (2) 協調性を育むためには、児童の相互理解を図り、所属感や有用感を味わい、自尊感情を高めるとともに、学級経営力の向上が必要である。特に「仲間づくり」を通して、子どもが安心して、楽しく生活できる居場所のある学級づくりが大切である。日々の授業はもちろん、学校行事や学級での取組も重要である。さらに、子ども同士、職員同士が尊敬・共感し合う関係を育むためにも、常に相手の立場に立とうという思いを大切にしていきたい。
- (3) 社会性を育むために、学級や学校で決めたことを守り、大切にしていこう（徹底と継続）は、重要である。集団を構成する人のそれぞれの思いや願いを受け止め、尊重し合う心をもって接するとともに、認め・褒め・励まし合うことで、教師と子ども、教師同士、教師と保護者との共感的人間関係をつくることはとても大切である。

□標準学力調査 評定1（D層）の児童数の減少
C層からB層、B層からA層へと児童数が移行する指導改善

□アンケート（子ども・保護者・職員） 【評定3.5以上】

- ・学習の準備ができています
- ・学校が楽しい
- ・積極的に授業等に参加している

※児童アンケート、保護者アンケート、学校評価、学校運営協議会評価等の活用

※校務運営計画との連動

※各学年・学級業者テストによる評価の検証（学年マネジメント：PDCA）
四分位相

※いじめ件数・不登校傾向・不登校児童
報告件数

※体力テスト
保健室利用数（来室数、疾病・傷病者数 虫歯）

※生活多面調査

5 重点目標達成のための経営の重点

(1) 主体性【自ら意欲的に学ぶ】

①令和の日本型教育の推進と青小スタンダード〈改訂版〉の徹底による日々の授業スタイルの確立

- ・自己選択・自己管理の学習や機会を各教科で工夫して実践
- ・内容の精選と徹底（カリキュラムマネジメント・心構え物構え）

②主題研を通じた授業公開・整理会の実施（講師招聘年間1回以上）

- ・主体性を大切にしたい研修や校内研究の取組
- ・学ぼうとする力（学習意欲）の育成による学習準備や授業時間内における実質的参加率（聞く・考える・書く・発表する子ども）の向上
- ・「主体的対話的で深い学び」「個別最適な学び」の構築

③青柳タイム（仮称：朝の活動）の計画的実施による基礎基本の徹底
評定1の子どもの学力保障 →

- 45分授業や朝活動等での5分間読書・スキルタイム等
- ※チャレンジタイム・放課後支援教室の取組を継承改善

④生活科・総合的な学習の時間を土台とした地域への働きかけと子どもの自主的・主体的な学習の構築

6年…SDGs【世界】（人・もの・こと）

※Webブックの作成（6年 古賀市全体での取組）

5年…古賀の宝（もの・こと）【市】

4年…自然・環境【市】

2年…校区（人・もの）

3年…校区（人・もの）

1年…校区（自然）

『令和4・5年度実績』

⑤ICTの積極的活用・・・ICT支援員の授業での活用（各学年1回以上）

クロムブックの持ち帰り（週1回以上）

※学力アップのドリル等取組

(2) 協調性【人と協力して行動する】

- ① 人権・同和教育の視点を重視した取組
 - ・ 相手が気持ちのよい「あいさつ」「言葉遣い」
 - ・ 評定1の子どもの学力保障
 - ・ 6年の部落問題学習 4年のし尿処理学習 あおぞら・かがやき及びいのちのノートの授業実践の公開
 - ・ 地協や校区、保幼小（保幼小連絡会）との連携した取組の充実
- ② 学年・学級経営の充実
 - ・ 子どもとの信頼関係を土台にした共感的な人間関係づくり
 - ・ 学級独自の取組の推進と交流
 - ・ 交換授業・教科担当制（単学級等）の設定
- ③ 各部の活性化を図る取組の構築
 - ・ 部長を中心に、1人1役を土台とした校務分掌 ※ボトムアップ
 - ・ 学校行事等における各部の取組の率先した提案
- ④ 生徒指導の組織的な取組
 - ・ 月1回の生徒指導委員会（児童支援委員会）を通じた取組の方向性の明確化
 - ・ 生活アンケート、教育相談の計画的実施とその後の適切な対応
 - ・ 市教育委員会や市SC、市SSW、心の相談員等関係機関との連携を図り、チーム学校として保護者対応や児童対応を行う。
 - ・ 初期対応からチーム学校として対応する研修と実践（迅速な対応と報告・連絡・相談の徹底）を行う。
- ⑤ 特別支援教育の充実
 - ・ 特別支援委員会（月1回）の充実及び研修会の実施（年間1回以上）
 - ・ 交流学級の担任との打合せ時間の設定による学習内容等の確実な実施
 - ・ 特別支援学級の入級についての綿密な確認（就学相談）
 - ・ 特別支援学級同士の交流と協働した実践づくり

(3) 社会性【支え合い高め合う集団をつくる】

- ① 子ども・教職員の意識改革
 - ・ 「共感」の意識の明確化
 - ・ 職員間における「尊重・尊敬」（相手の立場に立つ）の関係づくり
- ② 基本的な（学校）生活習慣と安心・安全な教育環境の確立
 - ・ あいさつ、チャイム席、掃除や整理整頓、靴を並べるなど
 - ・ 効率的な学習や学校生活を生み出す安心・安全な学校環境
 - ・ 近接学年会での取組の確認や確実な実施
 - ・ 家庭学習の定着と家読の推進
 - ・ ルールやマナーを守る意識化
- ③ 働き方改革の積極的推進
 - ・ 市との連携した取組
 - ・ 校内における工夫（週時程の見直し 長期休業中の研修の在り方）
 - ・ 研修履歴シートの活用とライフワークバランスを考えた自己研鑽
 - ・ 専科（教科一部専科制・単元専科制）等の検討・取組
 - ・ 超過勤務縮減の取組（月45時間以内）

- ④ P T C A 組織の改編に伴う保護者や地域と連携した取組
 - ・任意加入における会員数減少による活動の見直し
 - ・青柳校区地域の方との連携・協働を図る活動の見直し

- ⑤ 地域連携（コミュニティ・スクール）の推進
 - ・新しい青柳校区コミュニティの連帯や共同体としての在り方を求める
 - ・家庭や地域と連携し、社会に開かれた学校風土の醸成
 - ・学校運営協議会を中心とした地域との連携
 - 学校運営協議会 子どもの育ちを語る会 民生委員訪問
 - ・学習参観日等における保護者・地域相互交流の機会

- ・いのち輝くまち☆こが 2024 ・特色ある教育活動
- ・子ども主体の学び・生活文化向上の取組

※児童会活動等

令和6年度 古賀市立青柳小学校 学校経営の概要図

令和6年度 学校の教育目標

豊かな心をもって、学び合い、夢や目標に向かって挑戦する子どもの育成

夢や目標=ウェルビーイング (幸せ)

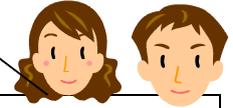
他を認め、思いやる優しさを持ち、自他共に大切にできる子【徳】
 確かな学力を身に付け、仲間と共に学び高め合う子【知】
 目標に向かって、ねばり強く取り組むことができる子【体】



希望や喜びのある楽しい学校
 きれいで安全な学校
 学び合い成長できる学校



あいさつ・安心・安全=社会性
 おもいやり=協調性
 やる気・元気=主体性
 ぎ問・発見 (学び)



情熱をもち、感動を与える教師
 経営力・指導力を高める教師
 互いに尊重し、協力し合う教師

本年度の重点目標

主体的な学びと共感的人間関係づくりの推進

- 自分から進んで学んだり実行したりする。 <主体性>
 やる気・学び (ぎもん・はっけん)
- 思いやりをもって接したり協力したりする。 <協調性>
 思いやり
- 礼儀やマナーを大切にし、安心安全な行動ができる。 <社会性>
 あいさつ・あんしん

主体性

- 授業や学習活動の改善
- 研修の工夫改善
- カリキュラム・ICT

協調性

- 人権・同和教育の充実
- 学年・学級経営の充実
- 各分掌部会の取組充実

社会性

- 共感的人間・信頼関係
- 基本的生活習慣と環境
- 働き方改革・地域連携

- やる気を高める授業づくり (学び) とカリキュラム (タイム)・マネジメント [主体性]
- 思いやりを広げる組織経営と保護者・地域・学校との連携 [協調性]
- 共感的な人間関係・信頼関係を深める響育の推進 (古賀東中学校区) [社会性]

～ 学校経営の基盤 ～

関係諸法規等、社会の要請、児童や保護者・地域社会・教職員の思いや願い、人権・同和教育